

# 第3学年O組 保健体育科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

## 1 単 元 健康な生活と病気の予防

### 2 単元の目標

- (1) 健康な生活と病気の予防について理解を深めることができる。
- (2) 健康な生活と病気の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを他者に伝えることができる。
- (3) 健康な生活と病気の予防について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。

### 3 学習の計画 (6時間完了)

- |     |         |                       |
|-----|---------|-----------------------|
| 第1次 | 第1時     | 感染症の原因について知る。         |
| 第2次 | 第2時     | 感染症の予防について考える。        |
|     | 第3時     | 性感染症の予防について考える。       |
|     | 第4時(本時) | エイズの予防について考える。        |
| 第3次 | 第5時     | 個人の健康を守る社会の取組について考える。 |
| 第4次 | 第6時     | 医薬品の有効利用について考える。      |

### 4 本時の学習指導

- (1) 目 標
  - エイズの感染原因、感染経路、予防法を知り、共生社会を目指すために必要なことについて考え、他者に伝えることができる。
- (2) 準備・資料
  - 教師……ワークシート、タブレット端末、エイズ患者・H I V感染者の報告数のグラフ、エイズ患者への偏見・差別に関する資料
- (3) 関 連
  - 1年 保健体育 健康な生活と病気の予防(健康の成り立ちと病気の起こる要因について考えを深める)
  - 2年 保健体育 健康な生活と病気の予防(生活習慣などの予防について考えを深める)
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
課題をつかむ	1 本時の学習問題をつかむ。 (1) エイズについて知っていることを発表する。 ・ HIVが原因である。 ・ 治療薬がない。 ・ うつる病気である。 (2) 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             エイズについて正しく理解し、今後の自分の行動を考えよう。           </div>	5	○これまでに学習して知っていることや見聞きしたことについて発表させる。
課題を追	2 エイズについて調べる。 (1) 個人で調べ学習を進める。  (2) 全体で情報を共有する。 ・ HIVが引き起こす病気である。 ・ H I Vは感染力が弱い。	20	○教科書やタブレット端末を利用して調べ、分かったことをワークシートに要点を絞って記述させる。 ○感染原因や感染経路、感染の予防だけでなく、社会の取組や海外の話題についても調べてもよいことを伝える。 ○調べたことを基に発表させ、内容を補足しながら板書する。 ○エイズはH I Vというウイルスが引き起こす

究 す る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染経路は、性的接触による感染、血液を介しての感染、母子感染に限られる。</li> <li>・感染予防には、不特定多数との性的接触をしないことが大切である。</li> <li>・潜伏期間が長い。</li> <li>・男性の感染者の割合が多い。</li> </ul>	30	<p>免疫の病気であること、H I Vに感染すると、リンパ球が破壊され免疫が低下することで、さまざまな病気に感染しやすくなることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ H I Vは感染力が弱く、ふだんの生活から感染することはほとんどないことを押さえる。</li> <li>○ 日本のエイズ患者、H I V感染者報告数のグラフを提示し、感染者の多くが男性であることを確認する。その上で、感染リスクを少なくするために、コンドームを正しく使用することの大切さを伝える。</li> </ul> <p>評エイズの感染原因、感染経路、予防法について理解している。（ワークシート）</p>
深 め る	<p>3 共生社会を目指すために、自分たちの今後の行動について考える。</p> <p>(1) H I V感染者、エイズ患者が受けてきた偏見や差別についての事例を読む。</p> <p>(2) 偏見や差別をなくしていくために必要なことについて、グループでブレインストーミングやブレインライティングを行い、意見を出し合う。</p> <p>(3) 代表者が発表する。</p>	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料を提示し、エイズに対する誤った認識から、差別や偏見に苦しんでいる人がいることを伝える。</li> <li>○ グループで自由に意見を出させる。</li> <li>○ 進行役と書記を決めてスムーズに進めていくことで、全員が自分の意見を出せるようにする。</li> </ul> <p>評エイズ患者への偏見や差別をなくし、共生社会を目指すために必要なことについて自分の意見をもつことができる。（話し合い活動）</p>
ま と め る	<p>4 本時を振り返る。</p> <p>(1) 本時を振り返り、感想を書く。</p> <p>(2) 次時の予告を聞く。</p>	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次時は個人の健康を守るための社会の取組について学習することを伝える。</li> </ul>

#### (5) 本時の評価規準

- エイズについての正しい知識をもち、共生社会を目指すための今後の生き方について自分なりの考えをもち、他者に伝えている。（話し合い活動）

### 5 備 考

#### (1) 学級の実態

- これまでの経験や、テレビやインターネットを通じて見聞きしたことを基に発表できる生徒が多い。しかし、その内容については誤った情報や大まかな情報が含まれており、正確性に欠けることもある。そこで、調べ学習に取り組み、学んだ内容を活用し、共生社会を目指すために必要なことについて考えさせる。

#### (2) 指導の力点

- タブレット端末を利用して調べ学習を行うことで、エイズについてより多くの情報を取得し、周りと共有できるようにさせる。
- 深める場面でブレインストーミングやブレインライティングを行うことで、生徒一人一人が学習課題について思考し、自分の意見をもたせるようにする。話し合い活動の中で、エイズについての理解を深め、エイズ患者との共生していくための方法や今後の自分の生き方について考えさせたい。

### 6 指導と評価